

# 牛久：学校周辺に見る自然

第7号 千葉県旭市

2011年5月10日発行

## < 復活の兆し ～ たくましい海浜植物たち >



防風林のクロマツ

あの地震、津波からまもなく2ヶ月になろうと  
しています。私は今年のゴールデンウィーク後半  
を、実家の旭市で過ごしました。22年度51号の  
初日の出の写真を写したところでは、街はすっか  
り変わってしまい、しばらくは海岸のようすを見  
に行くことさえできませんでした。3月下旬に実  
家の片付けに行った時、防風林も、たくさんの海  
浜植物たちももうダメだな・・・と、正直思いま  
した。そしてさらに1ヶ月ちょっとたった今回、津  
波のクッションになってくれたであろうクロマツ  
の防風林や砂浜の植物たちの状態を見てまわりま  
した。

松は背の低いものはほとんど全て枯れてしま  
いましたが、大きく育っていたものは多くの葉が赤  
茶色になりながらも、生きている芽がたくさん残っ  
ていました。

そして砂浜に出ると、あちらこちらに緑のかた  
まりがポツリポツリと見えます。なんと、ハマエ  
ンドウが芽吹き始めていたのです。

さらにハマヒルガオも。普段よりも葉がぶ厚く



ハマエンドウの芽吹き



花芽をつけたハマヒルガオ

なっているように感じました。

コウボウムギも半分砂泥に埋もれながら、存在を主張しているようでした。ハマニンニクはイネ科  
特有の花穂を風になびかせていました。ハマニガナも半分埋まりながら、葉を広げ花をつけていまし



地下茎と根を張り、ふんばっているようなコウボウムギ（雄株）



風に花穂をなびかせて咲くハマニンニク



砂泥の中から葉を広げ花をつけていたハマニガナ

んなところまで運ばれてしまったのですね。と、悲しみながら斜面を登ると、ハマエンドウが今度はたくさんの花を咲かせて迎えてくれました。

たくさんの生き物たちが大きな打撃を受けましたが、も

た。家に近い防波堤から小高い砂丘を  
通って戻ろうとしたら、その陸側一面  
に千匹はいるだろうヒラコブシガニの  
死がい広がっていて驚きました。こ



一面に広がるヒラコブシガニの死がい



ともと砂浜の強い潮風  
の中で暮らしてきた海  
浜植物たちは、実にす  
ばやく復活に向けて動  
き出していることが分  
かり、胸が熱くなりま  
した。これでようやく  
私も、次に向けて動き  
出せそうです。今回は  
牛久の話題でなく、ご  
めんなさいね。

【理科支援員 宮内】  
きれいに咲くハマエンドウ